

Kanadevia Inova、アイルランドの O&M 企業を買収へ ～ ごみ焼却発電プラントの運転・維持管理業務を継承 ～

カナデビア株式会社の 100%子会社で、ごみ焼却発電プラントやバイオガスプラントの設計、建設、保守、運営などを手がける Kanadevia Inova AG（スイス、以下、Inova）は、このほど、アイルランド・ダブリンのごみ焼却発電プラント運転会社である Encyclis Ireland Operations Ltd.（以下、EIOL）を買収することについて、EIOL の親会社である Encyclis Bidco Limited との間で、合意契約書である Share Purchase Agreement（SPA）を締結しました。

なお、買収の完了は、2025 年夏頃を予定しています。

EIOL は、ダブリン・プールベッグにおいて、Inova が設計、建設し、2017 年から稼働しているごみ焼却発電プラント（ごみ処理量：600,000 トン/年、発電出力 68.8MW）の運営を担っています。運営期間は 2062 年までの 45 年間であり、既に 7 年が経過していますが、残り 38 年間の運転・維持管理業務を Inova グループとして引き継ぎます。

また同時に、プラントの処理量を 15%増加させ、690,000 トン/年とするアップグレード工事も請け負います。同ごみ焼却発電プラントは、約 115,000 世帯への電力供給と、約 50,000 世帯に地域暖房を提供可能ですが、プラント規模の拡大に伴う発電能力のアップグレードにより、これらの数値はさらに増加する見込みです。

プラントのアップグレードは Inova の強みの 1 つであり、プラント所有者の資産価値を高め、資産運用リスクを軽減するという観点から、プロジェクトファイナンス事業が多く、ごみ焼却発電プラントの成熟市場である欧州では重要な能力です。

Inova は近年、従来からの EPC（設計・調達・建設）事業だけでなく、運営やメンテナンス等の継続的事業を戦略的に拡大してきました。これにより、Inova の売上高に占める継続的事業の割合は 2024 年度には約 30%まで拡大する見込みです。

2010 年末に Inova が当社グループに加わって以来、当社と Inova は一体となってグローバルに事業展開を進めてきました。2010 年当時、Inova は売上高 300 億円規模の会社でしたが、現在は欧州で圧倒的なシェアを握り、売上高も 2024 年度は約 2,200 億円に拡大する見通しです。当社と Inova は、2024 年 10 月 1 日にそれぞれ商号を変更しましたが、ごみ焼却発電分野のトップランナーであるカナデビアグループとして、引き続き一体となって事業展開を進めてまいります。

なお、EIOL の概要は以下のとおりです。

1. 会 社 名：Encyclis Ireland Operations Ltd.
2. 所 在 地：10 Earlsfort Terrace, Dublin 2

3. 事業内容：ダブリン廃棄物発電施設の運転・維持管理
4. 設 立：2007 年
5. 売 上 高：約 3,250 万€（2023 年 12 月期）
6. 従業員数：約 60 名

(終)